子曰はく、「※由、女に之を知ることを誨へんか。

由よ、おまえに知っているとはどういうことであるかを教えよう。

之を知るを之を知ると為し、知らざるを知らずと為す。

知っていることを知っていることとして、知らないことを知らないこととする。

①是れ知るなり。」と。

それが知っているということである。

子曰、「由、誨二女知一レ之乎。知レ之為レ知レ之、不レ知為レ不レ知。是知也。」（為政）

子曰はく、

「【之を知る者は、之を好む者に如かず。

何かを（詳しく）知っているという人は、（それだけだと）それを好きだという人に

之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。】」と。

何かを好きだという人は、（それだけだと）それを楽しむ人に

子曰、「知レ之者、不レ如二好レ之者一。好レ之者、不レ如二楽レ之者一。」（雍也）

子曰はく、「②君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず。」と。

子曰、「君子和而不レ同、小人同而不レ和。」（子路）

※子貢問ひて曰はく、

子貢が尋ねて言うことには、

「一言にして以て終身之を行ふべき者有りや。」と。

一言で（表せて）一生それを行うべきことがあるでしょうか。

子曰はく、

「其れ恕か。③己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。」と。

それは恕（思いやり、慈しみ）だな。

子貢問曰、「有下一言而可二以終身行一レ之者上乎。」

子曰、「其恕乎。己所レ不レ欲、勿レ施二於人一。」（衛霊公）

※由…孔子の弟子、仲由。一般に子路と呼ばれる。直情の人として知られる。

子貢…孔子の弟子。弁舌にすぐれる。

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「是れ知るなり」とあるが、知っているとはどういうことであるといっているのか。適当なものを選びなさい。

ア 知っていることと知らないことを区別し、自分の知識を正しく認識（にんしき）すること。

イ たとえ知らないことがあっても、知っているふりをして堂々とふるまうこと。

ウ 物事をよく知っている人とそうではない人を見分け、他人から積極的に学ぼうとすること。

［　　］

(2) 【　】について、より望ましいと述べられている人物の順に並べ替（か）えなさい。

ア 之を好む者　　イ 之を知る者　　ウ 之を楽しむ者

［　　→　　→　　］

(3) ――線②「君子は和して同ぜず。小人は同じて和せず」について、君子と小人はそれぞれどのような人物だと述べられているか。二つずつ選びなさい。

君子［　　・　　］　小人［　　・　　］

ア 人と調和する。　　イ 人と調和はしない。

ウ 何にでも同調する。　　エ むやみに同調はしない。

(4) ――線③「己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ」が表す意味となるように、（　）に当てはまる言葉を選びなさい。

自らがしてほしくないことを、（　）。

ア 人にしないだろう

イ 人にしてほしい

ウ 人にしてはならない

［　　］